



## ダイ (ヤギ)

2009年6月10日生まれ。ダイはヤギたちの中でもひととき存在感があり強かったです。角が立派で毛が長く特徴的な見た目でもとても人気でした。餌を与えているといつも1番に食べに来ていました。



## マメタ (ヤギ)

2012年3月23日に生まれ人工哺育で育ったマメタ。掃除中に後ろを振り返るとそばにいる人懐っこい存在でした。大人しい性格だったため、ふれあいイベントにも貢献してくれました。



## 葛西（クロツラヘラサギ）

2000年に江戸川区葛西で保護され、多摩動物公園に来園しました。片目が見えず飛ぶことができませんでした。地上に立派な巣をつくり、メスとペアになり、たくさんの子孫を残してくれました。



## オカカ（カイウサギ）

2010年12月に来園。食べるのが大好きで、同居しているコンブのエサを食べちゃうこともあり、ちょっとぽっちゃり体型でした。運動場ではモルモットの毛づくろいをしたりと愛らしいウサギでした。



## ニーナ（コアラ）

寝てばかりといわれるコアラですが、活発に動くことで人気だったニーナ。来園してしばらくは緊張して丸くなっていましたがだんだん個性的なりラックスポーズで休むようになりました。多摩では8年ぶりとなる子供を産み育てました。



## ブーブー（レッサーパンダ）

ブーブーは1997年ひらかたパークで誕生し、2001年繁殖のため当園にやってきました。その後はたくさんの繁殖に成功し、子どもたちは日本中の動物園で活躍しています。22歳で老衰のため死亡しましたが、レッサーパンダでは異例の長寿でした。ブーブー、長い間ありがとうございました。安らかに眠りください。



## 青梅（ニホンイヌワシ）

青梅は東京都青梅市の山林で衰弱しているところを保護されました。晩年は、自分で食べられなくなることも度々ありました。口元に餌を近付けると、懸命に啜えようとする姿に、生きる力強さを感じさせてくれました。



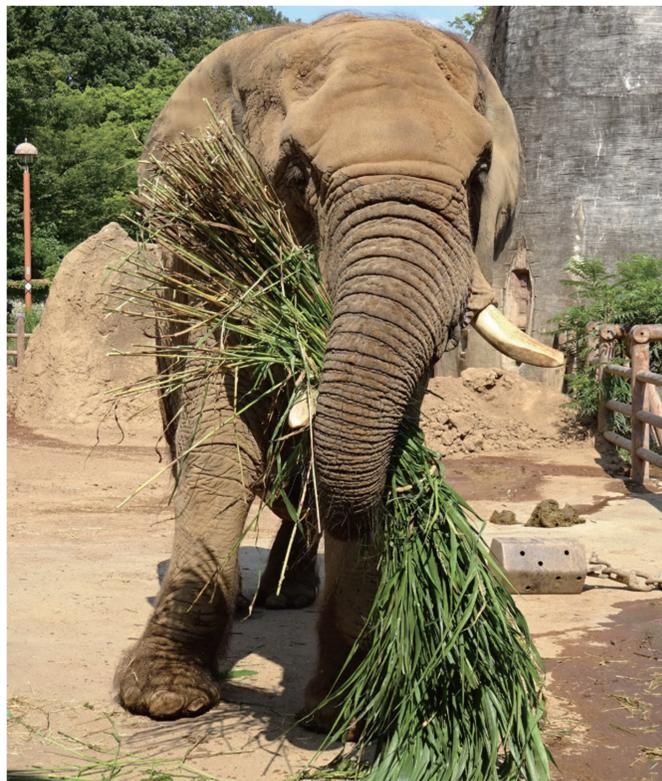
## マナスル（ヒマラヤタール）

2004年に生まれ、生息地のヒマラヤ山脈にちなみ名前が付けられました。冬には立派なたてがみが多くの人を魅了させました。穏やかな性格のオスでした。



## カイト（ライオン）

現役の時は群れのオスとして活躍してくれました。  
群れを引退してからは兄弟であるレボ、ロックと仲  
良く裏の放飼場で無防備に日向ぼっこしている姿が  
とても印象に残っています。



## チーキ（アフリカゾウ）

当園で生まれた子ゾウたちの面倒を丁寧にみる、  
よき乳母として大きな存在感がありました。  
やや太めで丸っこい独特の姿はお客さまに人気で、  
多くのファンがいました。